

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	キャリアデザインⅡ（DB）		（ TDB108 ）
講義名（コード）	キャリアデザインⅡ（DB）		（ TDB108 ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	デジタルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	飯塚 光博	時間数	30
成績評価教員	佐藤 貴志、島田 昭二	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	日本の会社組織を知り、自身が応募する業界や職種を決める。応募するために必要な基礎知識を理解し応募書類を書けるようにする。
全体の内容と概要	日本の社会を知り、自身の興味と照合させ、自らが目指す業界や職種・企業を決めることを行う。
授業時間外の学修	企業を理解するために、Web上のホームページを閲覧したり、実際に企業（施設や店舗を含む）を見学したりし、その記録を提出する。
履修上の注意事項等	グループワークに取り組んだ際には、全員最低1回は発言の機会を持つ。理解できない用語は自身で調べ、必要に応じて講師に質問すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	授業時に提示した教材プリントに、ワークの成果を記述して授業終了時（あるいは次回授業時）に提出することを義務付ける。この提出の内容が成績評価の核となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	後期授業の目的ガイダンス/CamJキャリア目標の設定
2	仕事理解	【講義】京王プラザホテルの動画視聴 【演習】日本社会の特徴/仕事の進め方（メモ、ほうれんそう）
3	履歴書①	個人情報・学歴欄の作成（手書きフォームとPC作成）証明写真の効果
4	履歴書②	資格欄・自己PR欄・ガクチカ欄の作成、棚卸
5	自己PRの作り方	自己PRの作成、棚卸
6	面接対策①	【講義】面接の種類/個人面接とは/グループ面接とは/WEB面接とは 【演習】代表者3名を前にグループ面接体験をする。
7	面接対策②	【講義】面接で聞かれやすいことを知る。【演習】「学生時代頑張ってきたこと」を文章化。グループ面接を体験する。（自己紹介、自己PR、ガクチカ）
8	履歴書③	志望動機を作る前の土台作り（仕事研究・会社研究・自己理解）
9	履歴書④	志望動機の作り方、作成のコツ
10	面接対策③	【講義】グループディスカッション（GD）とは。面接官の視点。GDでの役割（司会、タイムキーパー、発表、書記）【演習】GDで面接官が何を見ているのか考えよう。
11	面接対策④	【講義】前回の振り返り【演習】代表者によるグループディスカッション体験、振り返り
12	就職活動への準備	【講義】就職活動の流れ/3月までに準備すべきこと（履歴書写真、就活スーツ、カバン、ネクタイ、ワイシャツなどの準備）
13	期末試験	履歴書を作成する。
14	期末試験のフィードバック キャリアセンターからのお知らせ	添削された履歴書の内容を確認し、部分的に修正を行う。 キャリアセンターから今後の就職活動についてのガイダンスを行う
15	振り返り	後期授業の振り返り/質疑応答/秋冬インターンシップへの参加

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	進路活動ハンドブック+プリント教材
参考文献・資料等	
備考	